



# ダッシュ

NPO法人目黒体育協会会報 発行編集／NPO法人目黒体育協会  
発行日／平成24年6月10日

## 「体協を皆さんと共に、発展拡充させよう」

### 平成24年度の目標と抱負

平成24年4月26日、NPO法人目黒体育協会定期総会が開催され、全員に近いご出席をいただき、総会は和やかなうちに終わりました。そして今回、目黒体育協会の力を未来に及ぶ「連携」を軸に、成長への力強い第一歩を踏み出したところです。今年は次の三つの目標を掲げました。

一、目黒区民体育祭の完全実施

二、指定管理者の継続取得

三、指導員派遣等自主事業の確立

これらの目標を新役員が中心となって進めていかなければなりません。推進するには加盟団体の協力が不可欠です。新役員は別記の通りですが、これまで役員として、ご尽力をいただきました副会長 高橋孝夫氏、同 松岡一二三氏、理事 佐藤憲司氏、同 山本昭治氏、同 木村治氏が勇退されました。長い間ありがとうございました。これからもご指導いただきたいと思ひます。

これからの目黒体育協会を皆さんと共に発展拡充させようではありませんか。

目黒体育協会会長 石塚 友宏



### 目黒体育協会 24, 25 年度新役員

|        |       |          |       |
|--------|-------|----------|-------|
| 会 長    | 石塚 友宏 | 理 事      | 玉川 進  |
| 副 会 長  | 藤岡 直彦 | 理 事      | 滝澤 謙二 |
| 副 会 長  | 堀内 謙治 | 理 事      | 戸澤 真一 |
| 副 会 長  | 安藤 嘉昭 | 理事(総務部長) | 中村 豊  |
| 専務理事   | 和栗 弘一 | 理事(事業部長) | 谷川 宏治 |
| 理事(会計) | 塩川 和典 | 理事(広報部長) | 天野 聡士 |
| 理 事    | 神原 康幸 | 監 事      | 坂田 進  |
| 理 事    | 松野 好晴 | 監 事      | 延命 時江 |

# NPO法人目黒体育協会平成二十四年度事業計画

目黒体育協会は、区民体育祭を二十四年四月から日程確保、準備、用品管理など、これまで区が担当していた業務を体育協会事務局が担当し、区とともに主催することになりました。体育協会は

この新しい変化を積極的にとらえ、一月から体育協会事務局に女性二名を増員しました。不慣れのため体育祭準備等まだ不十分な対応で、ご迷惑をお掛けすることもあるかと思いますが、早く業務に習熟し、満足いくお手伝いができるようパワーアップしていきたいと考えております。

皆様方のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。四月の総会で了承された二十四年度の事業計画を発表します。

## ◎平成二十四年度開催及び参加する事業

競技力向上及び健康づくり推進に関する事業

一、区民体育祭を目黒区とともに主催

区民のために大会を開催し、競技力の向上と地域スポーツ振興の事業を推進します。

- ① 第50回春季体育大会 35種目 8100人参加
- ② 第51回秋季体育大会 35種目 9200人参加
- ③ 第51回冬季体育大会 2種目 290人参加
- ④ 第50回体育祭閉会式 6月30日碑文谷体育館
- ⑤ 第51回体育祭開会式 9月9日中央体育館

二、都民体育大会に選手を派遣

区市町村対抗方式の大会に参加し、スポーツの振興と各地区の友好親善に寄与します。

- ① 第65回都民体育春季大会 23種目 280人
- ② 第65回都民体育参加夏季大会 水泳大会

- ③ 第65回都民体育大会冬季大会（スキー、駅伝）
- 三、都民生涯スポーツ大会に13種目180人派遣
- 四、都民スポーツふれあい大会 2種目 20人派遣
- 五、全国青年大会 2種目 30人派遣

## ◎東京都、都体協委託事業

一、ジュニア育成地域推進事業

ジュニアスポーツの普及と競技人口の拡大を図り、国体やオリンピックを視野に競技力向上事業を行う。

二、シニアスポーツ振興事業

10団体 16種目 880人  
4団体 4種目 270人

## ◎顕彰事業

- 一、生涯スポーツ功労者及び団体表彰（都体協）
- 二、目黒区スポーツ優秀選手及び優秀団体特別表彰（目黒体育協会） 6月閉会式にて
- 三、目黒区政功労者表彰（目黒区）

## ◎今年度から新しく取り組む事業

- 一、青少年健全育成のためのスポーツ事業プロジェクト青少年が、競技の代表選手を目指すスポーツでなく、健康維持や楽しむスポーツを目的とした事業を検討するプロジェクトチームを組織します。
- 二、高齢者対策プロジェクト

高齢者のスポーツ実施率の向上を図り、高齢者の健康維持・増進を目的とした事業を検討するプロジェクトチームを組織します。

三、指導者派遣事業

学校や団体、個人指導など専門家の指導を受けたい人に体育協会から指導員を派遣します。

体育協会事務局 諏訪誠一郎

| 種 目                       | 種 別   | 優 勝       | 種 目  | 種 別   | 優 勝             | 第50回目黒区体育祭 秋季・冬季大会 第28号未掲載分 |
|---------------------------|-------|-----------|------|-------|-----------------|-----------------------------|
| スポーツ少年団<br>(軟式野球<br>小中学生) | 小学低学年 | 不動バ イレーツ  | 相撲   | 4年の部  | 吉田 裕太郎(上目黒小)    |                             |
|                           | 小学高学年 | ヤングホークス   |      | 6年の部  | 近嵐 尚(菅刈小)       |                             |
|                           | 中学生   | 目黒ビーターズ   | サッカー | 1年    | グイトー7目黒FCモンスター  |                             |
| 中体連 野球                    | 中学野球  | 区立第三・四中学校 |      | 2年    | グイトー7目黒FCモンスター  |                             |
| 軟式野球                      | Aクラス  | ホットボーイズ   |      | 3年    | 月光原 SC ライト      |                             |
|                           | Bクラス  | Getters   |      | 4年M-1 | 五本木 FC ヴルバ      |                             |
|                           | Cクラス  | 目黒デイトナ    |      | 4年M-2 | 下目黒・田道 SC       |                             |
|                           | 成年の部  | YDS シルバー  |      | 4年M-3 | グイトー7目黒黒FCボンバー  |                             |
| スキー                       | 男子2部  | 中島 憲治     |      | 5年    | グイトー7目黒FCモンスター  |                             |
|                           | 男子3部  | 鈴木 富雄     |      | 6年M-1 | グイトー7目黒FC       |                             |
|                           | 女子2部  | 高田 優紀     |      | 6年M-2 | 菅刈 SC           |                             |
|                           | 女子3部  | 桜井 むつ美    |      | 女子の部  | チームカワホリ         |                             |
| フットボール                    |       | シンパーズ     |      | 中学の部  | サッカーコミュニティFC 目黒 |                             |

## 「総務部会」

総務部に所属してすぐに部長就任で、何を目標にやろうかと総務部員の人たちと話し合ってもいないなかで抱負を語ることは少々性急だと思いますが、経験のない私の今の思いを述べさせていただきます。体協の定款に、体協の目的は「スポーツ・レクリエーションを振興する。市民の健康増進、青少年の健全育成」とあります。また、24年度の方針に「利用者に満足頂ける運営を目指す」とあります。

この定款や方針にそって総務部として何をやるか。あまりにも大きなテーマであり「難しい、難しい」がつい言葉に出でしまいます。しかし、少しでも前年より何かよくなった、と区民のみなさんが感じられるような行事を実践できるよう協力していきたいと思っています。

そこで「何をやるのか」ですが、総務部としてはまだ具体的な検討はしておりませんが、私は利用者の満足度向上の観点から、「体協主催の各種行事を見つめる」利用者の目を持ちたいと思います。例えば参加者の目からみて何か不備がなかったのか。子供から見た目、高齢者からはどうだったのかを考え、それらの結果を、次期事業に結びつけられる提言ができればいいなと思っています。

総務部長 中村 豊

## 「事業部会」

事業部は主に区民体育祭開会式、都民体育大会結団式、解団式等、大きなイベントの準備や運営を担当しています。これらの式典が予定通りに進められるように部員同士力を合わせていきます。この部会

がもっている雰囲気はどこかのんびりしているようですが、いざとなると一致団結します。

一昨年は区民体育祭開会式の会場が、碑文谷体育館から中央体育館に変更となり、混乱やミスもありましたが、これからは今までの経験とアイデアを出し合いながらより良い式典にしていきたいと思っています。

部員のみなさんは気さくで、部会では何でも話し合います。谷川部長を支え、力を出し合い協力的です。これらからも区民の為、体協の為に努力していきたいと思っています。

事業部 朝倉 三枝子

## 「広報部会」

今期、広報部長の天野聡士です。私は、バドミントン協会より正会員に選出されています。

前期より広報部会で活動していますが、今回は前任の広報部長推薦と広報部員の満場一致で決定しましたので、一生懸命がんばっていききたいと思っています。

広報部は、体協の活動を体協加盟団体や区民にお知らせする広報活動と、いろいろな出来事をつかり記録として残す活動があると思っています。その二点を、広報部全員で体協広報誌『ダッシュ』を使い年間3回発行していきます。

広報部からの依頼がありましたら、期日までに原稿をよろしくお願い致します。

今後とも、広報部をよくしていきたいと思っていますので、ご支援、ご協力をお願い致します。

広報部長 天野 聡士



☆本年の都民体育大会開会式は東京都障害者スポーツ大会と合同で開催、目黒体育協会からは会長以下役員と選手代表で50名、スポーツ少年団130名が参加3千人の参加者と一万人を超す観客がありました。アトラクションで元オリンピック選手の朝原宣治さんと少年たち6人が300メートルで競走をしました。



## 体協加盟団体紹介

### ●バスケットボール連盟

バスケットボール連盟は、区民大会だけでは「試合数が少ない」「もっと試合をやりたい」という同好者からの要請で発足しました。

2012年3月現在、男子32チーム、女子16チームが在籍しています。連盟の大会は、夏季、冬季の2大会で楽しんでいます。

チーム構成は、会社チーム、中学校、高校OB・OGチーム、大学生の同好者チーム等です。特筆したいのは、一般公開で知り合った仲間同士で作ったチームです。リーダーが「一般公開の指導者が苦勞しながらまとめています。」と言うようにバスケットボール好きが仲良くゲームを楽しんでいます。

連盟主管のもう一つのイベントは、プロリーグチームの指導により小学生チームのミニバスケット教室を毎月第三土曜日の午前中、スポーツ広場で行っていることです。月一回ですが、小学校単位、また、個人参加あり。大いに楽しんでいます。

※バスケットボール好きの皆さん、まず一般公開から参加してみませんか？

一般公開【毎月第二・第四、第五木曜日、

午後七時、中央体育館】

バスケットボール連盟 副会長 森田茂



### ●少林寺拳法協会

少林寺拳法は、「護身練胆」「精神修養」「健康増進」の三徳を柱に、体と心の修練を行う武道です。拳と禅、つまり肉体と精神を偏らずに共に鍛えることにより、肉体も精神も健全で頼りになる自己を造る「自己確立」が可能になります。また、自分と同じように他人の幸せを考えて行動する「自他共榮」を目指して、地域における青少年の育成及び良き指導者の育成に努めております。現在では、世界34ヶ国にて活動しています。目黒区の少林寺拳法協会では、地元に着した四つの支部が練習に励んでいます。現在ではこの4支部合同のもとに春と秋に年2回の大会を行い、拳技の紹介と普及に努めています。大会は小学生から年配の拳士まで参加し、拳士各々が日頃の修練の成果を出し合い、勝ち負けにこだわることなく、「本当の強さ」すなわち、よりどころとなる自分をつくるための練習の成果を出しています。少子高齢化の現代において、体力に依りて無理なく続けられる練習方法を取り入れることも、今後のテーマの一つとして取り組んでいます。

少林寺拳法協会 土肥伸一郎



### ●目黒区ゲートボール協会

当協会は、昭和34年に記念すべき第1回の区民ゲートボール大会を行い、翌年には設立記念大会を実施し、今日まで54年間半世紀に亘り歴史を刻んで参りました。昭和36年には目黒区体育祭に初参加。その他目黒区老人クラブ主催のゲートボール大会共催、目黒警察署主催の防犯ゲートボール大会への参加活動をして参りました。発足当時高齢者のスポーツとして爆発的に広まり、多くの人々が集いました。適度な足腰の運動、反射神経の反復、大きな声を出すなど、プラス要因が取り上げられ協会登録者も増加成長を果たしました。その間ハワイ遠征等国際色豊かな時代もありました。

しかし、40チームを頂点とした昭和30年代以後、今日まで会員の方々の高齢化に依り、協会参加チーム数の減少が続いております。協会として様々なアイデア、また会員皆様の希望等を取り入れ、競技運営に反映、少しでも会員増に努めているところです。激しからず、きつからず、そして和やかに、競技の特徴を生かし、今後も役員一同、精一杯の努力をし、会運営に当たって参りたいと思います。

ゲートボール協会 会長 小川 安弘

